



第76号
H27年1月19日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

平成26年度結城地域農業・農村男女共同参画セミナーを開催

12月19日普及センターにおいて、結城地域農業・農村男女共同参画セミナーを開催し、管内女性農業者等34名が出席しました。

講演会では、野菜ソムリエ・ジュニア食育マイスターの石井真弓氏を講師に、「野菜と果物の基礎知識とPR方法」と題してご講演いただきました。講演では、当地域の主要農産物であるハクサイとメロンに焦点を当て、栄養・機能性やレシピ等についてお話いただきました。PR方法については、言葉だけでは魅力を伝えることは難しいが、五感を刺激することは意外と簡単である等のアドバイスをいただきました。そして、石井先生お手製のハクサイケーキを試食しました。

また、海外視察研修に参加した山野井君代女性農業士より報告が行われ、農家民宿、大規模野菜農家、大規模直売所等、ドイツの農業事情について分かりやすく説明していただきました。

非常に参考になったという声が多く聞かれ、有意義なセミナーとなりました。今後も普及センターでは、農業・農村において男女共同参画が進展し、女性農業者が充実した活動を行えるよう支援していきます。



農業経営士および青年農業士による就農・進路相談会

12月11日に県立農業大学校園芸部において、就農・進路相談会が開催されました。結城普及センター管内から結城市の北島嘉典農業経営士と館野忍青年農業士が講師として参加し、座談会形式で学生と意見交換を行いました。

学生からは農業の魅力や規模拡大する際の注意点など様々な質問があり、講師から「農業は自分の采配で出来る事が魅力」「雇用して規模

拡大するのは相当の覚悟が必要」などこれまでの経験をもとにした丁寧なアドバイスがありました。学生は先輩農業士の生の声を聞くことができ、大いに刺激を受けたようです。

普及センターでは今後も農業三士や関係機関等と連携して、地域農業の担い手の確保・育成に取り組んでいきます。



北島農業経営士と学生の皆さん



館野青年農業士と学生の皆さん

ファーマーズマーケットほくそう10周年記念感謝祭開催

12月6, 7日に常総市にあるファーマーズマーケットほくそうで開店10周年を祝うイベントが開催されました。10年間支えてくれたお客様に感謝の気持ちを込めて、野菜たっぷりけんちん汁や農産物詰め放題のサービス、トラック市で新鮮野菜を販売しました。さらに、バンド演奏やお囃子等の見せ物を多数用意し、お客様をおもてなしました。

普及センターでは、来店者の利用動向を探るアンケートを実施しました。ライバル店はスーパーマーケットであることが明らかになった他、「野菜はここでしか買わない」等、お客様のう

れしい声も聞くことができました。

今回集まった意見を参考にし、今後の品揃えや販売方法の改善等の支援に活かしていきます。



日本一の野菜周年供給型産地を目指して 結城地域 未来につながる農業フォーラム開催

結城市・八千代町・常総市は露地野菜を中心とした青果物の一大産地を形成しています。しかし、今後の継続的な地域農業発展のためには、新たな担い手を育成しながら、計画的に雇用労力を活用した周年経営を確立する必要があります。

このフォーラムでは埼玉県で大規模な周年雇用型経営を実践されている「農業生産法人 株式会社ナガホリ」代表取締役の永堀吉彦氏をお招きし、担い手育成や雇用を活用した経営についてご講演いただきます。ふるってご参加ください。

開催日時：平成27年2月17日（火）
13：30～15：30
（受付13：00～）

開催場所：JA北つくば結城支店 2階 大会議室内

- 内容：
- （1）講演：「逆転の発想で農業改革」
講師：農業生産法人 株式会社ナガホリ
代表取締役 永堀吉彦
 - （2）事例発表：結城ブランドの取り組みについて
 - （3）農薬の基準変更（短期暴露評価）について
- 連絡先：0296-48-0184（結城普及センター）
担当：水野、宮崎

ご注意ください！農作物における農薬残留基準値の評価方法の変更について

農薬の残留基準値を設定する際の評価方法に、新たな項目が導入されることになりました。これに伴い、農薬によっては適用作物が削除される等の変更が行われ、残留基準値がこれまでより小さな値に設定されることとなります。

平成26年12月22日現在で使用方法の変更を情報提供している農薬のうち適用作物が削除されるものは、有効成分にアセフェート（オルトラン水和剤、ジェイエース水溶剤等）、ベンフラカルブ（オンコル粒剤5等）、カルボスルファン（ガゼット粒剤等）を含む薬剤です。削除となる作物以外でも使用方法に制限のわかるものもありますのでご注意ください。

上記の農薬以外にも、今後、使用方法が変更される場合があります。詳細および最新の情報は、販売店等で配布されるチラシや農薬メーカーのホームページ等でご確認ください。

【従来の評価方法】

慢性毒性の指標である一日摂取許容量（ADI）*1に基づく長期暴露評価

【新たな評価方法】

従来の評価方法

+

急性毒性の指標である急性参照用量（ARfD）*2に基づく短期暴露評価

*1 一日摂取許容量（ADI）

ヒトが、ある物質を一生に渡って毎日摂取し続けても健康に悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量

*2 急性参照用量（ARfD）

ヒトが、ある物質を24時間又はそれより短時間に経口摂取した場合に、健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量

★編集者より★ 今年のお正月は珍しく大吉のおみくじを引き、良い気分でH27年をスタートしました。「苦はたのしみのたね、楽はくるしみのたね、と知るべきである」と書いてありました。（後藤）